

この説明文書は服用前に必ずお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

# かぜ薬 ビタクール錠ハイ

第②類医薬品

ビタクール錠ハイは「かぜ」の諸症状を緩和する10種類の有効成分を配合した総合感冒薬です。本剤には、頭痛・発熱・関節の痛みなどをしずめる解熱鎮痛剤**イブプロフェン**、鼻水・鼻づまり・くしゃみなどのアレルギー症状の緩和に役立つ抗ヒスタミン剤**クレマスチンフマル酸塩**、鼻やのどの粘膜の炎症をしずめ、粘稠なたんを切れやすくする酵素剤**リゾチーム塩酸塩**をはじめ、せきやたん有效果がある**プロムヘキシン塩酸塩**、ジヒドロコデインリン酸塩、*dl*-メチルエフェドリン塩酸塩などが配合してあります。

## ⚠ 使用上の注意

❌ **してはいけないこと** (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

### 1. 次の人は服用しないこと

- (1)本剤又は本剤の成分、鶏卵によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3)15才未満の小児。
- (4)出産予定日12週以内の妊婦。

必ずお読みください。



### 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

### 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと (眠気等があらわれることがある。)

### 4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること

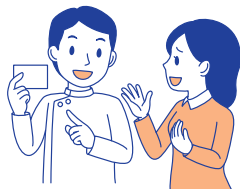
### 5. 服用前後は飲酒しないこと

### 6. 5日間を超えて服用しないこと

## 🗨 相談すること

### 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)高齢者。
- (4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5)次の症状のある人。 高熱、排尿困難
- (6)次の診断を受けた人。 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、緑内障
- (7)次の病気にかかったことのある人。胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病



### 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい、興奮、けいれん
循 環 器	動悸
呼 吸 器	息切れ
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。

肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎 障 害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
便秘、口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること (特に熱が3日以上続いたり、また熱が回復したりするとき)

## 効 能

かぜの諸症状(のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

## 用法・用量

次の量を、水又はぬるま湯で食後なるべく30分以内に服用してください。

年 齢	1 回 量	服用回数
成人(15才以上)	3錠	1日3回
15才未満	服用しないでください。	

<用法・用量に関連する注意>

- 用法・用量を厳守してください。
- 右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。  
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



## 成分・分量

9錠中

イブプロフェン450mg、ブロムヘキシン塩酸塩12mg、クレマスチンフマル酸塩1.34mg(クレマスチンとして1mg)、リゾチーム塩酸塩90mg(力価)、ジヒドロコデインリン酸塩24mg、*dl*-メチルエフェドリン塩酸塩60mg、無水カフェイン75mg、カンゾウ乾燥エキス120mg(カンゾウ937.5mgに相当)、チアミン硝酸塩(ビタミンB<sub>1</sub>硝酸塩)24mg、リボフラビン(ビタミンB<sub>2</sub>)12mg

添加物:ヒドロキシプロピルセルロース、CMC-Ca、メチルセルロース、ステアリン酸Mg、ケイ酸Al、無水ケイ酸、乳糖水和物、セルロース、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、カルナウバロウ、黄色5号

## 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- 使用期限をすぎた製品は服用しないでください。
- 水分が錠剤に付着しますと、表面の一部が溶けて斑点を生じることがありますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手でふれないでください。

## 副作用被害救済制度の お問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構  
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html  
☎ 0120-149-931(フリーダイヤル)

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

小林薬品工業株式会社 お客様相談室  
電話：058-278-3933  
受付時間：10時～16時(土、日、祝日を除く)

製造販売元

小林薬品工業株式会社

岐阜県岐阜市中鷲1丁目139番地

本社所在地

東京都中央区日本橋筋崎町40番6号